

83	告知を受けた時点で、ステージ 4A だったので (9 月)、桜はもう見られない。正月も向えられないかも知れないと思った。その後 2 年経過、もうけもの余生と思っている。副作用の時間が長くなるにつれ、生き延びる意味に疑問を感じる事が有る。家族の為に生きている様な気に成る時も有る。死の恐怖は余り無いが、苦しみたく無いと思っている。ピンピンコロリが良い。出来れば特効薬が見つかって欲しい。
84	再発、転移があれば、治療はしたい。お金があれば手術を受けたいが、出来るかわからない。できなければ痛みがないようにしたい。
85	なるべくして胃がんになったので、今後の生活を変えていく機会だと思っています。今までは、仕事ばかりの毎日で本当にしんどかったので、今後は身体を大切に、ストレスをためないようにしたい。あと、家族との時間も大切にしたい。再発しないように、生活に気を付け、検査をしっかり受けて行きたい。しっかり薬も飲んでいこうと思っています。
86	最初の病院でがん宣告を受け、かなり進んだ、進行がんという事でしたが、ショックを受けている暇がなく、今後の方向と手術をする病院の検討し、転院、手術～化学療法に入り、手術回復対策、副作用対策、人工肛門管理、金対策などドタバタやって来た一年でした。まだ先が見えない状況ですが、やりたい事もありますので、まず 3 年、5 年目標に向け頑張っていきたい (病気は医師、看護師、薬剤師のアドバイスも受け、会社は出来るだけ出勤しています。頑張り過ぎず)。
87	受け入れるしかないが、治療費が高いため、この先どこまで治療出来るか不安。保険が使えない治療は、出来ない。今生きているこの時を、一日大切に充実したものにしたいと思うようになった
88	大元の直腸がんは、手術で治ったが、転移した肺がんは小さい物が全体に散らばり、数ヶ月後、肝臓にも転移してしまった。手術が出来ないので、抗がん剤を続けているが、体の不調が続くばかりで、どう向き合ったらいいのかもわからない…。先が見えない不安でいっぱいです。特に足のしびれが辛く、このまま何年も通院していたら、経済的にも不安。両親も年老いていくばかりだし、何年後、体が元気になっても、職に就けるかどうか…。
89	不安は募りますが、前向きに成るようにはかならないと思い、日々暮らしています。これからの治療費が気がかりです (ここまでと言う線がないので現在は、化学療法)。
90	治るものなら治したいと思いますが、現実には厳しいのも知っています (悲しい事です)。不安は、いっぱい！4 年も闘病生活を送っていると、今は成り行きにまかせている感じでしょうか？健康な方がうらやましいです。経済面のアンケートという事ですので、書かせて頂きますと、我が家の場合、息子が私大医療系大学の学費とで大変でしたが、今春卒業ですので一安心で少しは楽になれるのでしょうか。4 月から「限度額適用認定証」を利用出来るようになったので、1ヶ月窓口¥83,400 と決まっているので良くなりました。それ以前は大変でしたけど (戻って来るとはいえ)。
91	完治する病気でないことは理解しているつもりでも、何とか完治したいと毎日努力を続

	<p>けている。先進医療が保険適用になることを、切望している。有名人が 200 万円で完治したと聞いた時に、保険制度を改善してもらいたい。</p>
92	<p>TVなどで、癌治療に非常に苦痛を伴うような過剰な表現もありますが、私自身の体験から、以前と違って、副作用もかなり押さえられ、他の病気とそんなに違わないという実感です。とは言ってもやはり、メンタル面でとても苦しんだ時もありました。4年経って、気持ちもだいぶ落ち着きましたが、まだ再発、転移の心配もあります。これしかないという人のため、海外で使われている新薬の認可、日本でも柔軟な対応を希望します。</p>
93	<p>昨年10月、全摘手術後、いろいろ悩みましたが、幸いに良い担当医にめぐりあい、診療情報を十分に受け、がんと上手に向き合う努力をしています。家族（妻）の愛に支えられ、前向きになりました。現在は、診療記録（ノート）により担当医に相談しています。</p>
94	<p>病気になったことは仕方がないし、前向きに…とよく人は助言してくれますが、3年経過して、やっと最近、それが少しずつ出来るようになり、人の役にも立ちたい、と考えるようになりました。震災にあって亡くなったり、大切な人を失ったりした人に比べたら、自分はとても恵まれているし、お世話になった人達にも、感謝の心をずっと忘れないようにしようと思います。経済的な面では、やはりまだまだ、個人の負担は大きく（私はまだ保険などあり、助かった）、積極的な治療をあきらめてしまうことも多いと思うので、ぜひ皆様、日本の高度治療が、一部の大金持ちのためだけのものにならないよう、よろしくお願い致します。</p>
95	<p>がん＝死という直面に立たされた割には、家系的にがん体質のせいか、又、年齢的な事もあり、自分でも驚く程、穏やかに死を見つめているところです。担当医のお陰様もあり、とりあえず今は生かされているという実感があります。手術直後から、今日まで術前と同じように楽しい毎日である事に感謝しているところです。ただ、このアンケート調査の主旨から読みとると、医療費は確かに高額です。私の場合主人が若い頃から、がん保険に入っていたお陰で何とか支払いの方が賄えた事は確かです。経済的な理由で治療が受けられない事のない様、宜しくお願い致します。</p>
96	<p>がんのことは、なるべく忘れて前向きに生活しようと思いつつ、なかなか現実はいつも、くよくよしている自分がある。やはり、経済的負担が一番心配です。</p>
97	<p>症状が日増しに進んでいる様で、心配。現在、月一回の抗がん剤の点滴でどれくらい堪えられるのか、不安。夫も、脳腫瘍の手術後の後遺症が出て来ているので、子供達と今後の事を話し合わなければと思っている。2人共（子供）遠方に住んで仕事を持っており、介護は不可です。</p>
98	<p>東日本大震災後の病気発症で、生活の不安が募る毎日でしたが、医療費の自己負担が減免されたので、病状回復に専念するよう努めています。</p>
99	<p>受け入れているが、就職しようとした矢先だったので、経済的に困窮している。母子家庭で、自分が働かないと生活出来ないのに、病気のためにたとえ体力が働けるくらいあっても採用されない。障害ではないので、国からの補償もない。生活保護も考えたが、生命保険加入が認められないため、いつ自分の命がどうなるかわからないのに、残され</p>

	<p>る子供たちのことを考えると、死亡保険金だけが財産なので生活保護も受けられず、困っている。</p>
100	<p>今後、再発や転移等による、医療費の負担や経済的な面などを考えると不安は続くが、自己管理の必要性を考える様になった。</p>
101	<p>完全な治癒が見込めないという事で、精神的にも不安定になるが、働ける状況になれば、社会復帰して少しでも働きたい。働くことで、生きる自信が出てくるから。少しでも社会と関わって生きてゆきたい。外来でも、高額療養が限度額までとなったので、とても助かっています。しかし、働けない状況での毎月の支払い分はとても厳しいです。この先、お金がかかるなと心配しています。</p>
102	<p>元来、割とのん気な性格なので、治ること、せめて原状維持だけを信じて主治医に従い、治療を続けている。しかし、発見が遅れたこともあり、病状が厳しいことは理解している。そのことを考えると、不安というほどではないが将来のことが心配になり、考えこむことはある（残していく家族のことが心配でたまらない）。また、抗がん剤がこんなに高額だとは、体験するまで知るよしもなく、治療を始めてびっくりしている次第である。幸い、高額医療費の支給を受けているが自己負担してから支給を受けるまで、4~5ヶ月かかり、毎月かなり辛い出費である。更に、昨今の日本経済の状況により、主人が退職、失業している状況で、組合保険の保険金支払いも倍額となり、支出は増える一方。治療をやめてしまおうかと考える日も多い。この病気は、病気そのもののことより、将来の家族や経済のことなどが心配でメンタル面に響いてくるような気がする。</p>
103	<p>不治の病と聞いております。辛く、気が滅入ります。早く、特効薬が出来る事を祈りつつ、日々を過ごしています。国も医療にかける予算を、もっともっと増やし、研究が進んでくれる事を祈りつつ生活しています。手術等でお世話になった先生方、看護師さんに、感謝します。</p>
104	<p>末期がんの為、出来るだけ経済的問題、治療方法を模索しながら、永く生きたい。家族の精神的、肉体的負担を増やさないよう頑張って生きたら、自分が死んだ後の事を整理しておきたい。何とか残された日々を楽しく生きたい。</p>
105	<p>施設警備のパート勤務に務めていたが、体調不良の為（ホルモン療法の副作用）で退職した→治療に専念する為にも、少し（80才位まで）元気になって、夫婦旅行でもしたいです。たばこ、アルコールと決別しました。</p>
106	<p>最初は、乳房を切除する事に抵抗があった。でも、抗がん剤の投与で髪が抜けると、そちらの方が重要になった。この世の終わりかと思った。人に色々言われた…。でもそれ以外、私の中の何一つ以前とは変わらない。元気もある。活力もある。ただ、リンパを取った事により、仕事を選ばなくてはならなくなった。でも私は生きている。再発の心配はあるかもしれないが、受け止める自信はある。</p>
107	<p>薬が高額で、今は働いているので、支払いが出来るのですが、仕事が無くなってしまった時の事を考えると不安です。あまり、考えないようにしていますが…。治療を続けたいのですが、お金がなければ支払いも出来ません。このような不安な気持ちをなくして</p>

	いけるような医療制度があれば、前向きに生きていけそうです。
108	告知された時は、Ⅲ期だったこともあり、死も覚悟しました。中3だった下の子、看護学生だった上の子のためにもと毎日を過ごしていました。職場にも恵まれ、復帰もでき、フルタイムで現在も続けております。再発の恐怖はありますが、自分のそれまでの生き方を考えさせられたように思っています。今が一番幸せだと思っています。
109	治療費が高く、家計を圧迫しているので、お金が無いと治療は受けられなくなるのかな、と不安になります。今年10月から、限度額以上は支払わなくてよくなったので、助かっています。戻ってくることは理解していても、一度、窓口での支払いは大変でした。
110	あまり深く落ち込む事もなく、前向きに生活しています。2年半が経ち、良好だったので仕事を始めました。2年間のホルモン注射が、高額と感じました。放射線治療も高額でした。民間保険に加入の時は、通院保障が大事だと思いました(私は入ってなかった)。
111	100万人に1人の病気と言われていて、治療方法も確立されていない中、治るともわからないまま辛い手術や治療を続けていくのは、精神的にも金銭的にも苦しい。せめて、国が難病指定してくれればとも思う。治らないまでも、痛みや苦しみが出来るだけない生活を送りたいと思っている。家族の存在が、生きる支えである。
112	初発から6年、再発2回、計3回の手術を経て、現在も、リンパ節転移があり、抗がん剤服用中ですが、私の場合、信頼出来る主治医に出会え、今のところ平穏な日々を送っています。がんになった事は残念ですが、心を許し、支え合う、大切な友人が何人も出来た事、家族の有難さ、人生について考える事が出来るなど得るものも沢山ありました。これからも、がんと闘うというのではなく、共存し、うまく付き合っ、出来るだけ長く、現状を維持出来たらと思っています。
113	定年と同時期にがんといわれ、収入も減ることから、これから先の医療費と生活費のことが心配ですが、病気は主治医を信頼して、前向きに治療していきたいと思っています。
114	発見当時は、当人よりも家族がより心苦しみました。手術後の経過も順調で、高齢ながら会社経営者として変りなく就労出来て、余計な気遣いをする暇もない事に感謝の日々を送っています。現在は、家族の者達も私に対する気遣いもなく、日常を楽しんでいます。
115	いつ再発するかわからないが、一生この病気に付き合って行かなければならないでしょう。でも、医療費負担が心配です(今のところ、一割負担で助かっていますが、先が…)。
116	主治医の指導のもと、定期検査をしながら治療をしています。現在、治験薬による治療に参加させていただいているため、薬に対する負担は比較的少ないので、助かっています。現在、使用している薬がきかなくなり、治験から外れて自己負担によることとなった場合、とても不安で一杯です。
117	ストレスを溜めない様、やりたい事は何でもチャレンジ・明るく笑顔でを心がけています。経済的な面で、今後、負担が少なくなれば、病気を患ったと云って落ち込む人が少しでも減るのでは？ダブルパンチにはならない？
118	がんの発見、手術から約2年経過しましたが、やはり一番心配な事は再発・転移です。

	<p>抗がん剤でウィッグを使っていましたが、是非、保険対象にしてもらいたいです。ウィッグがなければ、仕事を続ける事は不可能でした。私は、全摘出で背中からの再建手術を受けましたが、今でも重い物を持つと背中が痛いという後遺症があります。シリコン手術が保険内で出来るなら、そちらを受けていたかもしれません。病院の待ち時間が長過ぎます。11時半の予約で、会計が終わったのが5時でした。もう少し改善して下さい。</p>
119	<p>治療はほぼ終り、がん発見前の生活に、ほぼ戻っています。手術よりも放射線治療の負担が大きかったです。将来の健康に対して戻るお金だと思って、支払っています。がんになって、家族、友人の大切さを改めて実感しました。</p>
120	<p>がん治療は、高額療養費では足りない。貯蓄があったから良いが、もしなかったら受けたい治療も受けられなかった。がん治療の補助金があったら、本当に助かる（←例えば、負担を1割負担にしてほしい）。</p>
121	<p>術後5年が経っている事と、その間の検診や信頼出来る医師との出会いで、落ち着いて過ごせています。平成23年の震災で、収入が激減した為、再発や転移があった場合、前回と同じ様な治療が受けられるか心配です。</p>
122	<p>ホルモン療法は、3年でできなくなる。骨に転移している者は化学療法しかない。今、毛が抜け、骨痛など副作用あり、ここまでは、総合病院と名がつけば出来るはず。病院も赤字で、3市に渡って〇〇市まで行かないと、治療が出来ない。遠くへ行くことは、1日、仕事、金と時間がかかり、家族も主治医の話を聞きに来る。今かかっている病院に頼るしかない。赤字だという医療体制に問題あり。</p>
123	<p>再発の不安は常にあるため、仕事も慎重になった。病名に偏見を持たれる事があり辛い。</p>
124	<p>再発が怖いという気持ちはありますが、今は手術をして、普通の生活をしているので、健康的に暮らしていきたいです。薬のせいか、年齢的なものなのか、仕事をしていくには疲れやすく、しんどい為、辞めたいが、経済的に不安です。</p>
125	<p>通院の交通費は、お金がかかるし、仕事も休まないといけない。医療費は高い。もっと医療費が安くなることを望んでいます。精神的にも、いろいろ先を考えて不安なので、せめて経済的に楽になることを望んでいます。</p>
126	<p>子供も、まだ小さいですし、生きているって素晴らしい事だと思えるので、病気とうまく付き合いながら、少しでも長く生きていきたいと思っていますが、長く生きる＝高額な治療費が掛かると言う現実もあります。高額療養制度はとても助かりますが、それを利用しても、年間、かなりの額になります。病気を除けば元気なのですが、治療などで度々仕事を休まなければいけないとなると、正社員はもちろん、パートの仕事にすら、就けません。後ろを振り返っても病気は治らないので、前向き！！前向き！！です。</p>
127	<p>年金生活なので、医療費・薬代が少しでも安くなる様に願っています。肺より他の部位に転移しない様に願っています。</p>
128	<p>アメリカみたいに、良いとわかる抗がん剤が見つければ、出来るだけ早く患者に使ってほしい。日本では、何年も遅れて患者に使っていると聞く。1割負担でも大変なので、高額医療費を安く下げて頂ければ、ありがたいと思います。</p>

129	<p>なってしまった病はしょうがない。情報をきちんと把握し、適切な判断をしていきたい。2-7 この病気の、これまでの総支出を集計し、改めて医療費がかかることを認識した。今後の経過を考えると恐くて、ますます貯金は減らせない。高齢者は医療介護費の不安が解消されない限り、貯金を抱いたまま節約して過ごす。ますます高齢化が進み、使われないお金の存在が増え、経済の活性化は進まない。「今後の医療介護費は自己負担なし総て支払います」という制度は今すぐ無理なので、せめて保険でも出来たら振り込みを、済ませて残りを消費出来る。稼いだお金は使いたい。</p>
130	<p>自分的には、前向きに生きていますが、社会的には特別に見られたり、仕事をする際に、不利になったりということ、よく聞きます。もっと、がんについて一般の人に知識をもっといただきたいと思います。</p>
131	<p>感染症に気をつけて、過労を避け、ストレスをためない様に心がけている。薬はしっかり服用している。外来でも、高額医療証が使用出来るが、限度額を支払った後、院外処方薬が3万円ぐらいかかる。これは、又、提出しないといけないのでストレスになる（まるこめにしての限度額ならば楽なのだが…）。毎月の限度額薬も含めての方法なりを、考えてほしい。医学の進歩のおかげで、データが良くなった時は嬉しく。又、再々復帰も考えます。協会けんぽ。</p>
132	<p>現在の標準治療だけで、がんを完治させることが、不可能に近い現状では、何時かはがん難民として放り出されるのではないかと、常に不安です。従って、プラスαで自助努力をしなければと模索しつつ、自分なりに努力せざるを得ません。海外（欧米）で、既に保険適用になっている治療法なども、日本では出来なかったり、自由診断で高額な治療費がかかります。いろいろある問題点を、患者の立場で解決していただくことを望んでいます。</p>
133	<p>65才まで仕事（サラリーマン）をしていた。給料引きのがん保険を35年間、掛けていたが、定年退職と同時に解約した。1年後の66才になったら、がんが発生した為、今後の医療費が全て自己負担のため、今後の医療費支払に不安。病気は治ると思っている。</p>
134	<p>お医者さんを信頼して経過観察を行っていきます。再発の不安もあります。1人暮らしの私にとって、療養している時の生活費の不安が大きいです。休職している間は、収入がなくなり、でも、生活費、社会保険料、その他の天引き分の支出が痛かったです。貯蓄の必要性を感じました。これからの継続した検査費用も、負担です。支給された給付金は有り難かったです。これからの診療費として使っていきます。</p>
135	<p>がんと云われ、これから我が家はどうなるのかと思い、一日悩みましたが、どうにもならないので、自然のなりゆきにまかせ、くよくよしないことにしました。手術の結果も良く、これから残り少ない人生をいかに自分らしく楽しく生きて行こうと思っております。現在、特に心配することもなく、病気になったことで人の痛みが少し解ったと思っています。身体障害者の為、窓口で1割の医療費は支払いしますが、市に医療費の申請をすると後日戻って来ますので、健康食品を使用しております。</p>
136	<p>術後1年ほどは、落ち込む事も多く、精神的にも辛い時期でしたが、最近は、少し前向きに病気になった自分を受け入れて、通院しています。でも、毎月の注射や薬代、その</p>

	他検査にかかる費用など、家計の負担になっているのは事実です。
137	食事・運動（ウォーキング）に気をつけている。無理せず、睡眠をよくとるようにして、なるべく楽しいことをやってストレスをためない。経済的負担が大きいので気にかかる。
138	病気になった以上、前向きに生きていくしかないと思います。抗がん剤治療の為にカツラ購入などの経済的負担がなくなれば、見た目で、すぐにカツラだと分かる物を購入しないで済む人もいます。心が痛みます。
139	慢性骨髄性白血病の告知を4年前に受けた時、なぜ自分だけがという思いと、グリベックの副作用（顔のむくみ、痒みなど）により、仕事に立ち向かう気力をなくし、やむを得ず、退職せざるを得ない状況になって、人生設計が狂ったことに苛立ちを感じました。しかしながら、世の中には、自分よりはるかに重病に立ち向かっている多くの方がお見えになるということを通して知るに連れ、自分はまだ軽い病と意識するようになって来ました。一方で、病気治療にかかる費用が一般の人よりかかることには、釈然としないものがあります。
140	信頼出来る先生に治療していただき、最先端治療も受けられ、現在は、がんが消えています。先生はじめ、スタッフの方々、家族、友人、ご近所に本当に感謝しています。この状態を維持出来るよう、検査をきちんと受け、日々大切に、笑顔で過ごせるように暮らしていきたいと思っています。経済的にも、保険1割負担と高額療養費制度のおかげで、大変ありがたかったです。
141	1月に、レベル4とわかり、一瞬先が見えなくなりましたが、担当医が婦人科系は抗がん剤治療が効くからと言われ、その言葉を信じ、治療に望みました。幸いにも、薬が体質に合い、治療の度に、腫瘍マーカーが激減し、10ヶ月後には、完治にまで至りました。医療の技術もありますが、家族や友人、会社の人達の支えもあり、精神的に落ちこむことなく治療に臨めたのが、私が、この病気と闘えた軌跡だと思っています。今は会社に復帰し、楽しく仕事をしていますが、人に対しても、仕事に対しても大事に向き合えるようになりました。
142	発病前は、会社に勤めていたが、退院後は、会社に復帰出来ず、健康状態は良いが、なかなか仕事が見つからない状態です。
143	最初の診断、手術から1年も経たずに、再発・転移して、抗がん剤も効かず、手術ももう出来ない状態であるけれども、人間は必ず誰でもいずれは死ぬのだから、ジタバタせずに、今の自分を受け容れていきたい。頑張り過ぎない程度の治療、納得出来る治療を受けて、自然にいけたら良いと思う。高額な治療をしてまで治りたいとは思わない。
144	今まで、病院とはほぼ無縁の生活をしていましたので、一歩踏み出すまで、不安が大きく、精神的にも辛かったです。治療が始まって以降は、主治医の先生はじめ、色々な方に大変お世話になり、本当に感謝しています。人生一歩立ち止まって、自分（の健康）を見直すきっかけを与えて頂いたと思います。仕事復帰後も、しばらく化学療法が続きましたので、体調面で優れない日もありましたが、仕事で気が紛れる部分も多かったで

	すので、会社には理解を頂き、大変感謝しています。
145	大腸癌の為、一時的ストーマを着用していましたが、現在は、閉鎖する事が出来て、無事安定した生活が送れている。手術法等をめくり、いくつかの病院をへて、納得のいく現在の病院で手術を受ける事が出来て、良い結果が得られて、満足している。最初の病院だと、一生ストーマのまま終わったかもしれないと思うと、セカンドオピニオンの大切さをひしひしと感じる。今後どうなるかわからないが、その時その時で、最善の医療法というものを、自分なりに勉強し、選択していきたいと思う。自由診療のがん治療も、早く保険適用になって、選択肢を広げて欲しい。
146	医療費が高額になりつつあるので、いつまで治療が続けられるか、不安でいっぱいです。がん医療費を無償にしてほしい。
147	家族、友人のお陰で、前向きに考える事が出来ました。今年は手術もあり、化学療法、放射線治療と、1年があったという間でした。痛みは、ほとんどなかったので、生活は普通に送れている事は本当に良かったです。再建の手術も、保険適用にして頂く様、お願い致します。
148	重い病気の方は沢山いるなか、今までの元気な時とは、心も体も違う部分がありますが、普段の生活はしていけるので、良かったと思うようにしています。病は気からともいいます。今まで以上に、食事に気をつけて前向きに考えるようにしています。治療費が、もう少し少額で受けられるようになってくれたらいいと思います。
149	病気と診断されてから、不安感が募り、体重が減ってしまった。治療後も、再発・転移の不安があり、少しでも具合が悪いと、色々の病院をはしごしてしまった。本来の病気以外の医療費も、かなり出費しています。手術代、入院費は、民間の保険に入っているので助かっていますが、通院費については保障がないので、今後の治療費が心配です。今後、数年間、薬代、検査費等の出費が続くので、負担はかなり重いと思います。
150	年金、生活が始まったら、今でも苦しい生活なのに。年金生活に入ったら薬をやめるしか無い。真面目に年金を払い、税金を払った者が、苦しみ、年金を払わぬ生活保護の人より悪いのがおかしい。私の病気は10万人に1人ですよ。44,400円の自己負担でも、苦しい。
151	肝炎救済法は、輸血によるC型肝炎には該当しません。法律の不公平にも目を向けてください。粒子線治療には保険が該当しません。痛みのない治療法だそうですので、保険対象になることを願っています(300万円は、なかなか払える金額では、ありません)。

厚生労働科学研究費補助金
第3次対がん総合戦略研究事業

「がんの医療経済的な解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究」
(H22-3次がん一般-041)

総括・分担研究報告書（平成24年度）

発行責任者 研究代表者 濃 沼 信 夫
発 行 日 平成25年3月
発 行 所 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1
東北大学大学院医学系研究科 医療管理学分野
電 話 022-717-8127
FAX 022-717-8130

